

第 132 回八大学工学関連研究科長等会議議事録

日 時 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 13:28～17:04

場 所 京王プラザホテル札幌 3F 雅の間

出席者 会員等 71 名 (研究科長等、副研究科長等、運営委員、陪席)

議題等

1. 報告事項

- (1) 前回議事録確認
- (2) 連合会の上半期活動報告
- (3) 文科省との意見交換会 (8/2) 実施報告
- (4) JRIA との意見交換会 (9/12) 実施報告
- (5) 第 4 回日英工学教育ワークショップ実施報告

2. 協議事項

- (1) JST からのワークショップ参加依頼について
- (2) 達成度調査の実施結果の活用について
- (3) 平成 28 年度博士フォーラム実施計画について
- (4) 提言「海外人材獲得の大競争時代に向けて (仮)」について

3. 講演会

講演 I 文部科学省高等教育局視学官 土生木茂雄氏

講演 II 経済産業省産業技術環境局産業技術政策課長 渡邊政嘉氏

4. その他

- (1) ホームページのリニューアルについて (<http://8eua.org/>)
- (2) 今後の予定について

配付資料一覧

- | | |
|--------|--|
| 資料 1 | 第 131 回工学関連研究科長等会議議事録 (案) |
| 資料 2 | 八大学工学系連合会の上半期活動報告 |
| 資料 3-1 | 意見交換会・懇談会の実施について (最終案内) |
| 資料 3-2 | 理工系人材育成に関する産学官行動計画 概要 |
| 資料 3-3 | 理工系人材育成に関する産学官行動計画 |
| 資料 4-1 | 八大学工学系連合会と JRIA : 意見交換会プログラム |
| 資料 4-2 | 新しい産学連携スキームの構築に向けて |
| 資料 5-1 | 第 4 回日英工学教育ワークショップ開催報告概要 |
| 資料 5-2 | The 4th UK Japan Engineering Education League Workshop |
| 資料 6 | 俯瞰ワークショップ「エネルギー基盤技術 (工学)」 |
| 資料 7 | 達成度調査の実施結果の活用について |

- 資料 8 平成 28 年度博士フォーラム実施計画 (案)
資料 9 提言骨子 (案)「海外人材獲得の大競争時代へ向けて (仮)」

会 議 要 録

開会の辞

北村会長 (京都大学大学院工学研究科長・工学部長) から開会の挨拶があった。

幹事校代表者挨拶

今回の幹事校である北海道大学大学院工学研究院の名和研究院長から挨拶があった。

議長選出

定款施行細則第 4 条の第 4 項に従って幹事校代表者の名和北海道大学大学院工学研究院長を議長に選出した。

日程説明及び配付資料確認

石原事務局長から、会議日程の説明及び配付資料の確認があった。

1. 報告事項

(1) 前回議事録確認 (資料 1)

第 131 回八大学工学関連研究科長等会議議事録 (案) を確認の上、承認した。

(2) 連合会の上半期活動報告 (資料 2)

北村会長より資料 2 に基づいて、春の会議以降の活動内容について報告があった。

(3) 文科省との意見交換会 (8/2) 実施報告 (資料 3-1～資料 3-3)

北村会長より資料 3-1～3-3 に基づいて、本年 8 月 2 日に開催した「文部科学省高等教育局専門教育課と八大学工学系連合会の意見交換会」において、「理工系人材育成に関する産学官行動計画」及び「工学教育に関する問題意識」をテーマに意見交換を行ったことが報告された。

(4) JRIA との意見交換会 (9/12) 実施報告 (資料 4-1～4-2)

北村会長より、資料 4-1～4-2 に基づいて、本年 9 月 12 日に開催された「第 2 回八大学工学系連合会と研究産業・産業技術振興協会 (JRIA) 意見交換会」において、八大学からは「新しい産学連携スキームの構築に向けて」と題した資料を話題提供したこと、及び、当日は主に博士人材に関する意見交換・議論が行われたことが報告され、今後も機会をとらえ JRIA と継続的に交流を行っていくこととした。

(5) 第 4 回日英工学教育ワークショップ実施報告 (資料 5-1～5-2)

東工大・環境・社会理工学院の岸本学院長より資料 5-1～5-2 に基づいて、本年 8 月 5 日～8 月 8 日に東京工業大学で開催された第 4 回日英工学教育ワークショップについて報告があった。また、次回は 2017 年 9 月 6 日～9 月 8 日に英国グラスゴー大学で開催される旨の説明があった。

2. 協議事項

(1) JST からのワークショップ参加依頼について (資料 6)

北村会長から、資料 6 に基づいて、科学技術振興機構 (JST) 研究開発戦略センター (CRDS) から八大学工学系連合会に対し、本年 11 月 25 日、26 日に開催される環境・エネルギー分野俯瞰ワークショップ「エネルギー基盤技術 (工学)」への参加依頼があり、1 日目の各グループ討論におけるオブザーバ、2 日目の総合討論における大所高所からのコメントを行う研究科長・副研究科長、あるいは研究科長が指名する教授の派遣依頼があった旨の説明があり、事務局から各大学へ適任者の推薦依頼を行うので、対応願いたい旨の要請があった。

(2) 達成度調査の実施結果の活用について (資料 7)

北村会長から、達成度調査については、昨年度に見直しを行い、本年 3 月実施のアンケートから「達成度調査のプラットフォームは連合会が維持し、各大学にて達成度調査の必要性の判断に基づいて、自学の調査報告書作成費を負担する形で大学の実情に合わせた達成度調査の実施・必要性の吟味を進める」という方針に基づき行っていること、また、今回は 4 校が実施したことについて説明があった。続いて、東大・工学系研究科の佐久間達成度調査分科会主査より資料 7 に基づいて、東大での達成度調査の実施結果の活用について紹介があり、今後、各大学での達成度調査の進め方についての検討に役立ててもらおうこととした。

(3) 平成 28 年度博士フォーラム実施計画について (資料 8)

博士フォーラム幹事校の九大・工学研究院の松村博士フォーラム分科会主査から、本年 12 月 2 日に九大伊都キャンパスで開催される博士フォーラムの実施計画、今回集めた若い若手、議論内容などについて説明があった後、九大・工学研究院の高松研究院長より、各校からの参加者派遣の依頼があった。また、名和議長から、本日開催の理事会において、大学や企業からの若手研究者や技術者のフォーラム参加者へ交通費等の支援を行うことが合意された旨が説明された。この後、九州大学より「参加者推薦依頼」が送付されるので、各大学で対応いただきたい旨、要請があった。

(4) 提言「海外人材獲得の大競争時代に向けて (仮)」について (資料 9)

名和議長から、今年度の提言について、運営委員会での検討経緯が報告され、京大・工学研究科の天津提言分科会主査より、提言作成の基本的考え方と素案が説明された。意見交換の後、本日午前開催の工学部長会議や本会議での議論を参考にして分科会で引き続き提言作成作業を進めるので、会員から、運営委員あるいは事務局あてに意見をもらえるよう要請があった。

なお、リーディングプログラムや大学の世界展開力強化事業を行っている大学では、実際に海外とやり取りを行い、本件に関連したデータが蓄積されている場合があるので、それを利用できるかもしれないとの示唆があった。

3. 講演会

- (1) 文部科学省高等教育局の土生木視学官から、「高等教育を取り巻く最近の状況について」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた。(講演Ⅰ資料)
- (2) 経済産業省産業技術環境局産業技術政策課の渡邊課長から、「オープンイノベーションとその実戦に向けて」と題して講演があり、活発な質疑応答が行われた。(講演Ⅱ資料)

3. 連絡事項・今後の予定について

- (1) 次回の常設会議について、幹事校の岩附東京工業大学工学院院长より、来春の常設会議は4月21日(金)にKKRホテル東京で開催予定とのアナウンスがあった。
- (2) 次々回の常設会議について、幹事校の高松九州大学大学院工学研究院長より、来年9月29日(金)に福岡ガーデンパレスで開催予定とのアナウンスがあった。

以上をもって、第132回八大学関連研究科長等会議を終了し、名和議長が閉会を宣言した。

以上